

Global TiC テクノロジー賞 -台湾ビジネスプランコンテスト-(優勝報告)



学生ベンチャー団体 Innovision 代表:清藤貴博

Global TiC

- 台湾 新竹（アジアのシリコンバレー）
- IT企業（ACERなど）、半導体、OEM、
- インキュベーションシステムが進んでおり、多くの起業家を輩出している。
- この都市がコンテストを企画





世界各国から15～20のチームが参加

モンゴル



コロンビア



テクノロジー賞（\$3,000）



プラン概要

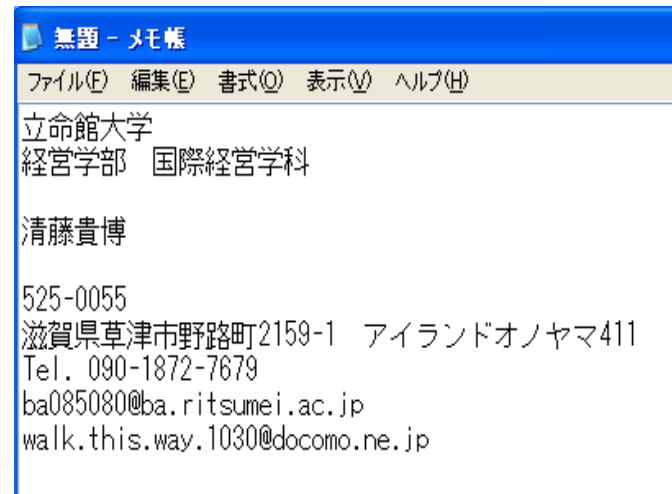


iMeishi
your business cards, online.

iMeishi とは



名刺読取
ソフト



いつでも、どこでも、どの言語でも
名刺データを引き出せ 利用できる



Content

- 台湾のビジネスコンテスト
 - 団体戦略
 - アントレプレナー教育のサポート
 - 当日のプレゼンの工夫
- 海外のアントレプレナーシップ
 - 活動から感じたこと

1. 団体戦略

団体設立の思い

- 日本のベンチャーは国内市場しかターゲットにしていない。。。。
- 大学時代には「世界を見た」
ビジネスを創造したいみたい！



アクロスウィング プリンキュベーションルームにて活動中

組織概要

文系学生数名
経営企画
マネジメントなど

画像認識

文型(アントレプレナー) × 理系(テクノロジー)

Web
コンテンツ

Web
デザイン

本キャンパスの
理工系学生 数名

インド留学生
ITに長けている



インドネシア留学生
デザイナー



活動経歴

1回生(2008) AO入試家庭教師協会

2回生(2009)

- 団体Innovision設立
- 国内のコンテスト 合計50万円
立命館2・3位、龍谷3位、阪南2位、三重3位
- 起業家奨学金 100万円の資金を獲得

3回生(2010)

- 国際的なビジネスプランコンテストへ
- シスコやGlobal TiC

2010年 6月 国際ビジネスコンテスト

- 慶応大学(SFC)や樺澤先生話をもらい参加を希望
- 膨大な資料作り、日々、徹夜の作業
- 情報不足もあり
仮に入賞すると、必ず資金を受け取って、ビジネスを行わなければいけない。
(契約上の問題やVCが行うコンテストのため)
- 結果、参加を断念する



2010年8月 ベンチャーキャピタルと相談

JAIC(日本アジア投資株式会社)

シリコンバレー担当者からiMeishiのコンサルティングを受ける。



2010年10月 台湾のコンテストに参加 

Question & Answer

2. 大学のサポート

2010年 台湾コンテストの準備

- 慶応大学からの招待、日本に2つの参加枠
 - 昨年度から立命館枠を1つ確保
- 参加には膨大な資料作成
 - 事前のプレゼン映像、当日紹介映像、
 - ビジネスプラン、団体紹介資料、推薦状
 - 飛行機チケット、ホテルなど
 - 英語で資料作成、担当者とのやり取り

大学のサポート

- 24時間利用できる
 プリンキュベーションルーム
- 100万円大学から支給される起業家奨学金



ヒアリング

- ビジネスプランの市場調査など



学生起業家 垣内君
経営学部 3回生



事業計画論
嶋内先生



展開科目
山口先生

3. 当日の工夫したビジネスプラン



プランで力を入れた2点

映像 資料

- クリエイティブ
- 審査員の引き付け

ロジック

- 競合分析
- 財務計画

映像資料

iMeishi HP

<http://dev.imeishi.biz/>

ID Password



iMeishi
your business cards, online.



about iMeishi



take a
video tour



get a
new account



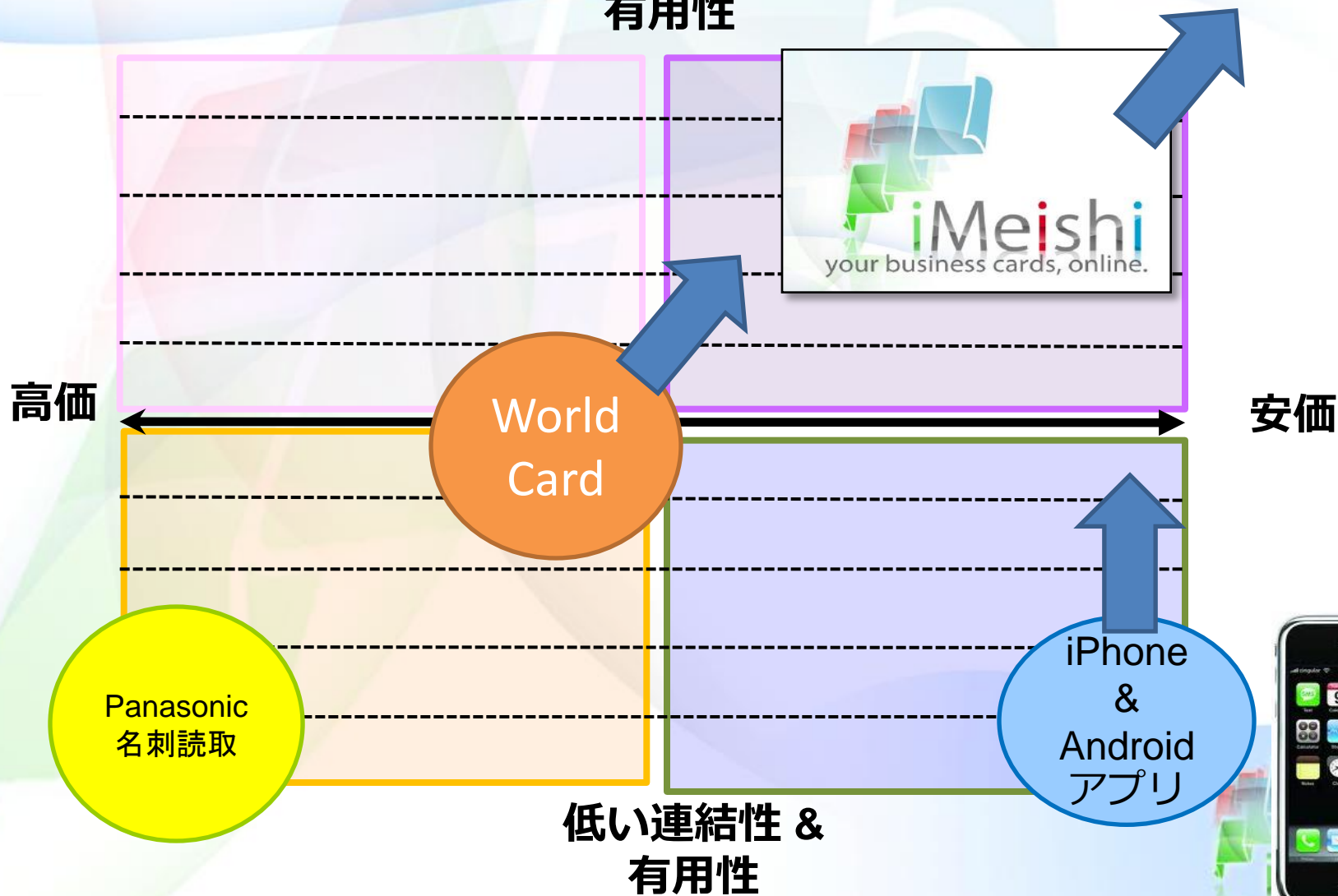
download



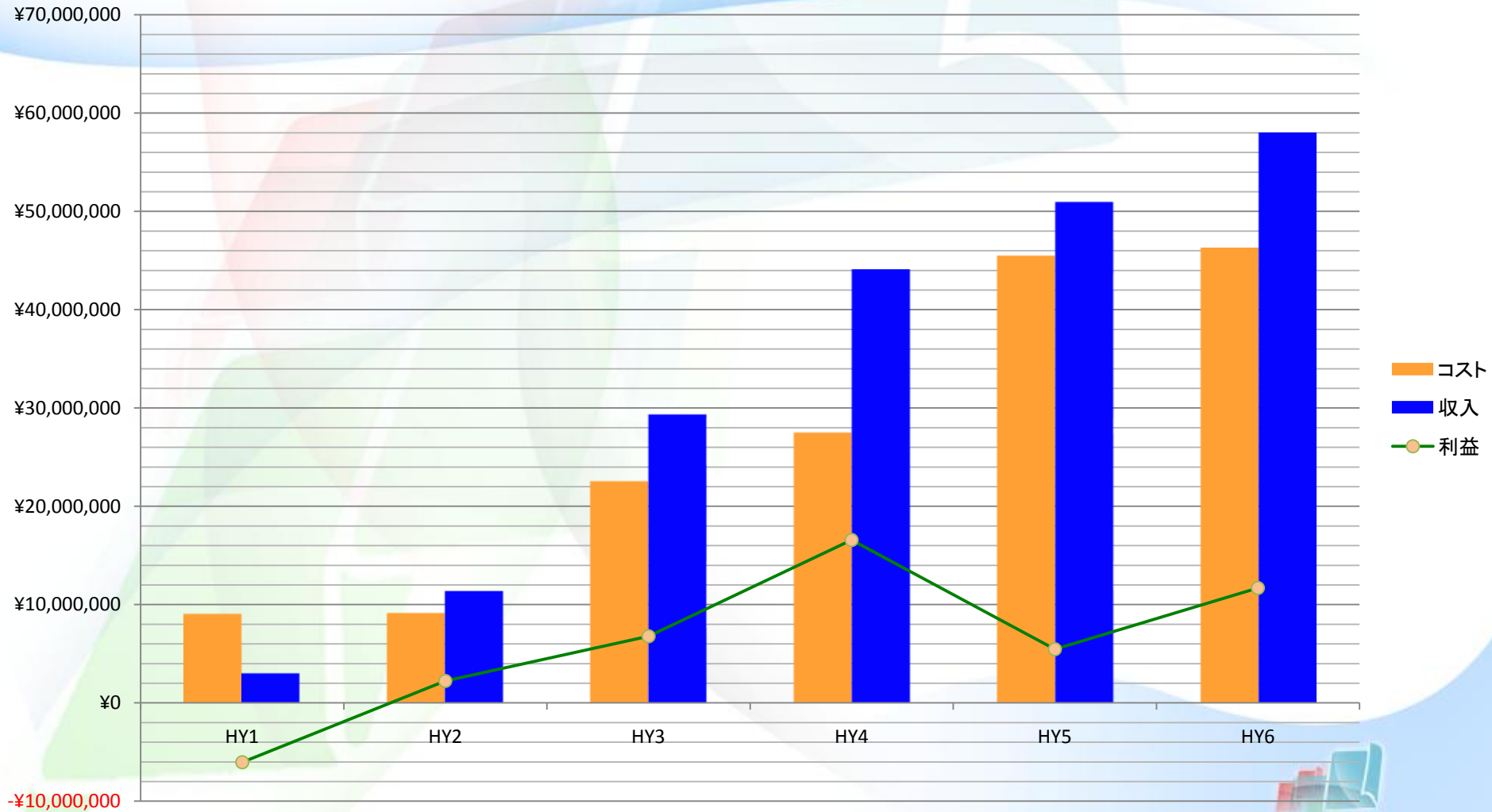
follow us

ポジショニング

高い連結性 &
有用性



収益計算





ビジネス
プラン

関西の大学での
経験知の数

アントレ
プレナー
教育

分析力

3C分析
キャッシュフロー計算

チーム
力

個人のカ
国際性×理系×文系

学内サ
ポート

プリンキュベーションルーム
起業家奨学金

PICK UP

2011年のPICK UP一覧

▶ 2010年のPICK UP一覧

2009年のPICK UP一覧

2008年のPICK UP一覧

2007年のPICK UP一覧

HEADLINE NEWS

EVENT NEWS

アクセスマップ

キャンパスマップ

HOME > PICK UP > 学生団体「Innovision」がビジネスプランコンテスト「Global Tic 2010」のテクノロジー部門で初優勝！

PICK UP : 2010 年

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

2010年11月25日掲載

学生団体「Innovision」がビジネスプランコンテスト「Global Tic 2010」のテクノロジー部門で初優勝！



記念撮影の様子

11月14日(日)から17日(水)まで、台湾で行われたビジネスプランコンテスト「Global Tic 2010」にて、起業家を目指す学生団体「Innovision」が、テクノロジー部門で初優勝した。

この大会は、台湾最大規模のビジネスプランコンテストの1つで、世界中で起業に関心のある学生やアントレプレナー教育を学ぶ学生が参加し、ビジネスプランを競うものである。

2010年度も各国・地域での予選を勝ち抜いた15の代表チームが出場。参加者の9割以上が学生で、日本からは代表として立命館大学、慶應義塾大学から各1チームが参加した。

今回「Innovision」のメンバーが提案したのは、インターネット上でデジタル名刺を管理するビジネスプランで、斬新なアイデアと実用的な点が評価され優勝を掴んだ。

Innovisionの代表である、Mohanakrishnan Jaikrishnaさん(理工学部4回生)は、「今回のビジネスコンテストに出場して、世界中から予選を勝ち抜いたチームと世界レベルで勝負でき、自分たちも世界一になれたことで自信がついた。また、大学からのサポートもあったからこそ、自分のやりたいことを実現することができた」と語った。



メッセージ

- 「起業はしたいけど、アイデアがない」という学生が多く。
- 私自身、iMeishiが目的ではなく、「手段」だったのでは、プロジェクトマネジメントを行いたかった。
- 動いてみないとわからない！何事に挑戦してみては？（アントレプレナーシップ）

海外のアントレプレナーシップについて

台湾チーム

国際色に富む インド アメリカ 台湾



アントレプレナーシップ

- 志が高い
 - 会社(就職)を「ステップ」として認識
- 人間的な魅力、情熱的
 - リスクを恐れない
 - 国外、特にでは多くのビジネスチャンス
- 何よりハングリー&アグレッシブ
 - スティーブジョブスの映像(1回目の講義)
- アニマルスピリット

台湾のアントレプレナー

- アメリカ出身 3度もビジネスに失敗
- 台湾から世界のマーケットを目指して



国際化の中で

- 間違いなく到来する国際的な時代
 - ガラパゴス化・国内市場の低下
- 同僚、取引先、もしくは競合が外国人、外資系という時代が必ず来る
- 世界的な視野を持ったビジネスを考える
 - 日本人にできること
 - 彼らをマネジメントする能力

国境を越えて、世界へ Think Global

御清聴、ありがとうございました！